



ホーンアンテナ/アンプ内蔵型 76.5GHz ディテクタ  
Model DW-2PAH



## 1. 概要

Model DW-2PAHは、車両用レーダに使用される76-77GHzの放射電力を、フィールドで測定する為のハンドヘルドユニットとして開発されました。ご使用に当たっては、内蔵のホーンアンテナを照射源に向け、メータで読み取れます。現在は主に、自動車用レーダのアンテナ調整用としてご利用頂いております。

## 2. 構成

本製品はDW-2型検出器、標準ゲインホーンアンテナ、及びメータ付DCアンプで構成されています。内蔵の検出器はアンプ・メータ共に校正済です。DC出力とメータ表示値は感度調整ノブで調整出来ます。本製品は、構成品を一つのケースに収め、現場での取扱いが簡単に出来る様設計されています。筐体には任意の箇所固定して設置できる様、取付けフランジが有ります。ADコンバータ入力用の0-1VppのDC出力(BNC/F コネクタ)が用意されています。又、電源は9V アルカリ乾電池(006P)一個で動作します。断続動作時で約100時間使用出来ます。感度調整ノブが電源スイッチを兼ねており、電源オン時には緑のLEDが点灯します。

## 3. 操作手順

感度調整ノブを時計回りに廻すと電源オンとなり、LEDが点灯します。点灯しない場合には電池を交換してください。

メータ表示値の調整：

76-77GHzのレーダが近隣で動作時に、メータが表示する検出電力値を基に、ホーンアンテナを信号源に向けて下さい。感度を適切に調整してください。試験時、自動車のレーダの放射ビームとその動きがメータの表示値として読み取る事が出来ます。この製品で、レーダのアンテナからの最大/最少の放射パターンと距離を、簡易に検出する事が出来ます。